



「電子マネーを作ろう！」

社会 金銭教育 総合（金銭・キャリア）

- (1) ねらい 「金融と地域貢献を合わせて考える課題」にグループワークで取り組みます。
金融について学ぶとともに、「生徒自ら考えること」を重視した授業を行います。
- (2) 対象 中学生（全学年）
- (3) 講師 財務省 関東財務局 東京財務事務所 職員
- (4) 形式
 - ・所要時間 50分程度 ※日程・時間・人数はご相談に応じます。
 - ・定員 20名～40名程度 ※オンライン開催も可能です。
- (5) 内容 自分の住む街を、将来どのような街にしたいかを考え、その街の将来像の実現に繋がる電子マネーをグループで考案し、最後にグループ毎に発表します。

“電子マネー”って何だろう？

企業や自治体などが発行した、
情報処理技術を活用した支払い手段であり、
“キャッシュレス”の一つです。

※キャッシュレスとは、
 お札や硬貨といった現金を使わずに、
 お店での買い物やお金のやり取りができる
 こと。
 キャッシュ（現金）+レス（以外）

簡単に言うと、
現金と同じように、モノを買ったり、
 サービスを受けたりすることができる
 電子のお金です。

主に、スーパー、コンビニ、鉄道の改札機に
 タッチしてお金を支払うことができます。

カードタイプのほかに、
 携帯電話やスマートフォンで使えるタイプ（バーコード、QRコード）があります。 2

キャッシュレス

デビットカード
 クレジットカード
電子マネー
 プリペイドカード
 ○○Pay など
 商品券
 ポイントカード

◆授業は、以下の3部構成で行います。

① 事前学習

電子マネーのイメージを掴むために、具体例などを予習。

② 当日の授業（50分）

電子マネーの説明の後、地域に根差した電子マネーを作成し、最後にグループ毎に発表。

③ 事後学習

授業で学んだことを元に「事後学習資料」で電子マネーへの理解を深める。

電子マネー 作成シート					
作成グループ氏名 () () () () () ()					
グループで考えた 『●●区をこんな街にしたい！』					
①電子マネーの名称		⑤電子マネーを利用することで●●区に貢献できるところ (ポイントやおまけをつけることも可能)			
②主に誰が利用するか		⑥ロゴやカードのデザインなど			
③どこで利用できるか		④利用の良い点、気を付ける点			

(6) 費用 「無料」

(7) 申込み 実施日2ヶ月位前まで ⇒ホームページトップページ「申し込みフォーム」から

財務省関東財務局東京財務事務所の方には、当本部から連絡を取らせていただきます。
 詳細の打ち合わせは、講師の方と学校担当者で行ってください。